

2013 年度東北都市学会大会 「子育て支援と地域力」

東北都市学会会長 増田 聡

平成 25 年 5 月 5 日、子どもの日にあわせて発表された日本における 15 歳未満の子供の推計人口(4 月 1 日現在)は前年比 15 万人減の 1,649 万人で 32 年連続減少となった。割合も前年比 0.1pt 減の 12.9%で 39 年連続減少、過去最低となっており、世界的にみても韓国 15.6%やドイツ 13.2%よりも低く最低水準である。

こうした日本の現状のなかでも、秋田県は日本でも高齢化とともに少子化の“先進県”ともいわれられており、2012 年 10 月 1 日現在の子どもの人口割合は全国最低の 11.1%である。秋田県行政では重点課題として「脱少子化対策」をかかげ様々な子育て支援を試みてはいるが、人口減少自体も著しくなかなか思うような成果には結びつかない。

そのようななか、秋田県内の横手市は、「出産・子育てしやすい街ランキング」において第一位となった(『週刊東洋経済』2012.10.13)。横手市は、横手駅周辺の再開発が平成 23 年で完了し、駅前にあった総合病院の移転跡地を利用してにぎわい創出を企図した横手市交流センターY² ぷらざが開設され、施設内のワンフロアを使い子育て支援の拠点施設の一つである児童福祉センター等が設置されている。そこでは子育てにかかわる様々なサービス、情報を総合的に得ることができ、横手市のみならず県内各地から利用者が訪れているという。

今年度秋田県で東北都市学会を開催するにあたり、こうした高齢化とともに少子化が進む秋田県内の横手市が、一方で出産・子育てしやすさで評価されまた中心市街地のにぎわい創出でも一定の成果を上げている現象に注目しようと考えた。子育てには次世代の雇用確保問題や働く女性の労働環境問題もかかわってくる。また女性だけでなく男性の家事・育児参加の課題もある。横手市はどのような地方都市としての「地域力」があるのか、また一方でどのような課題があるのかなど、子育て支援のヒントを得られるようなシンポジウムになることを期待します。

【主催】東北都市学会、横手市 【共催】日本都市学会、秋田大学横手分校

【開催時期】9 月 21(土)～22(日)

【場所】横手市交流センター／Y²(わいわい)ぷらざ 1 階オープンスペース、3 階研修室

【日程】

21日(土)12時～19時30分

12時00分～12時20分 東北都市学会理事会(3階研修室2)

12時25分～12時45分 東北都市学会会員会(3階研修室1)

13時30分～17時00分 公開シンポジウム『子育て支援と地域力』

(1階オープンスペース)

東北都市学会会長挨拶 増田聡

①基調講演:13時35分～14時20分

佐藤良吉氏(横手市副市長)

②シンポジウム:14時30分～17時00分

コーディネーター:日野 正輝氏(東北大学大学院)

パネリスト :山田恵美子氏(横手市子育て支援課副主幹)

金沢 直樹氏(NPO「清川の里」代表理事)

細谷 拓真氏(NPO「Yokotter」代表)

千葉喜久也氏(東京有明医療大学)

趣旨説明 :石沢真貴(秋田大学)

17時30分～19時30分 懇親会 横手プラザホテル(会費5,000円:予定)

22日(日)9時～16時

9時00分～11時30分 研究発表(3階研修室1、3)

12時00分～16時00分 エクスカーション『増田町の内蔵見学』(事前予約制)

Y2 ぷらざ発 12:00→増田町着 12:30-昼食-13:30 内蔵見学等

15:30→横手駅 16:00

※ 参加費は1,000円(食事代は除く)

内蔵見学

①(佐藤養助)⇒②旧石田理吉⇒⑤(山中吉助)or⑥(山吉肥料)⇒⑧(佐藤又六)

⇒④(蔵の駅※買い物有り)⇒⑫(日の丸醸造※買い物有り)